７／１０（金）の発表

【道庁プレスリリース】

報道発表資料の配付日時　　７月１０日（金）１０時００分

発表項目 （行事名）	「令和８年度全国林業経営推奨行事」受賞者について ～上川管内から飯田賢治氏（東神楽町 飯田林業）が林野庁長官賞を受賞～		
記者レクチャーのお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	令和８年度全国林業経営推奨行事において、上川管内から飯田賢治氏（東神楽町 飯田林業）が林野庁長官賞を受賞されましたのでお知らせします（別紙受賞者の概要は公益社団法人　大日本山林会作成）。 ○全国林業経営推奨行事の概要 森林の適正な管理、林業の技術・経営の改善に努め、森林の有する多面的機能の発揮及び林業の持続的かつ健全な発展に寄与している森林所有者等を表彰。 ・主　　催：公益社団法人　大日本山林会※ ・後　　援：林野庁 ・受賞の種類：農林水産大臣賞　　８件 林野庁長官賞　　１６件 大日本山林会会長賞　　８件 ※大日本山林会：明治１５年（１８８２年）に設立し、林業の改良と発展を目的として普及啓発・調査研究・山林事業等を行う公益社団法人。現総裁は秋篠宮皇嗣殿下。 ○上川管内における受賞者 林野庁長官賞　飯田賢治氏（東神楽町 飯田林業） （そのほかの道内受賞者　４者（法人２者、個人２名）） ○表彰式 １１月上旬に東京都内で開催予定。		
参考	全国林業経営推奨行事は、昭和３７年度より農林水産祭の参加行事として実施されています。		

報道（取材）に当たってのお願い	
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク　林政記者クラブ、渡島、十勝、日高、留萌の各（総合）振興局の記者クラブ

担当 （連絡先）	水産林務部森林海洋環境局成長産業課　（担当者：水間、五十嵐） ＴＥＬ　ダイヤルイン　０１１－２０４－５５１７ 上川総合振興局南部森林室（担当者：主幹兼普及課長　山本） ＴＥＬ　ダイヤルイン　０１６６－４６－５１７２ 公用スマホ　０１１－５８５－６１０３（内線１４０６２）

令和8年度 全国林業経営推奨行事　受賞者の概要

別紙

区分	氏　名／名　称	都道府県	市　町　村	概　　要	経営面積（ha）
農林水産大臣賞	有限会社サンエイ緑化	北海道	中川郡幕別町	民有林に加えて国有林の森林整備も行う。職員の安全を第一に考え、ほとんどの工程で機械化林業を実践している。	183.01
	佐々木　一夫	岩手県	遠野市	間伐から再造林までの施業を計画的に実施。県が主催する試験地に所有林を提供するなど、地域林業の高度化に貢献。	56.86
	中野牧野農業協同組合	秋田県	大館市	伐採跡地100％再造林を目標に掲げ、低密度植栽や隔年下刈り等のコスト縮減の取組みは、地域林業のモデルである。	411.2
	秩父広域森林組合	埼玉県	秩父市	森林整備事業や主伐事業のほかに、木材センターやマイタケセンターを経営するなど、幅広い事業展開を図っている。	所有99 受託1,721
	晃榮林業株式会社	三重県	熊野市	代々続く林家と木材商の伝統を受け継ぐ夫婦が、高レベルの安全対策、新技術の開発・導入、後継者育成などを実践。	所有660.96 受託380.16
	株式会社戸田組	新潟県	魚沼市	創業以来、土木・建設と森林整備を柱として事業を展開。道造りや治山施設整備等のハード整備に技術力が活きる。	所有224.78 受託128.5
	竹本　康明	愛媛県	上浮穴郡久万高原町	平成24年に県内で初めて森林経営計画を樹立。後継者のいない山林管理を積極的に請け負うなど放置林の再生に尽力。	所有287.48 受託303.83
	佐伯広域森林組合	大分県	佐伯市	国内有数規模の森林組合。森林整備から木材加工・販売まで行うなど、従来の枠を超えた企業的な経営を展開する。	245.99
林野庁長官賞	八雲産業株式会社　八雲事業所	北海道	二海郡八雲町	尾張徳川家の資産管理を行う同社は、旧徳川農場を引き継ぎ、森林整備事業や林業用育苗販売事業を行っている。	2,990
	飯田　賢治	北海道	上川郡東神楽町	祖父が創業した飯田林業の三代目。「持続可能な伐採スケジュール」を構築して、森林資源の循環利用を実践中。	264.59
	三上　良孝	岩手県	下閉伊郡岩泉町	所有する広葉樹林は、樹種別に製材用の高級材、薪炭材用の原木林に分けて施業を行うなど、多様な森林整備を実施。	73.2
	永田生産森林組合	秋田県	鹿角市	森林組合と連携を図り、地域森林の間伐に尽力。森林整備に積極的に取り組む姿勢は、地域林業の模範となっている。	57.31
	つくばね森林組合	茨城県	石岡市	施業の集約化に向けて近隣森林所有者と長期契約を締結し、2,438haの森林経営を受託。施業面積は年々拡大中。	受託 2,438
	利根沼田森林組合	群馬県	利根郡川場村	同組合は県内有数の素材生産量を誇る事業体であり、県内で唯一SGECのFM認証を取得している先駆的森林組合である。	所有34.7 受託17,313
	東伊那財産区	長野県	駒ケ根市	明治以前から大切な「俺たちの山」で、薪販売、松茸入札会などを行うために、常に適切な山林管理がなされている。	291
	（特活）森づくりＳ川根・ＮＰＯ	静岡県	島田市	篤志家からの寄付を元に山を守るために設置された団体。地域の森林整備を牽引し、地域を活性化させる事業を展開。	所有17.6 受託52.5
	余川地域森林振興会	富山県	氷見市	安定的な木材供給及び里山保全の両立等に取り組む集約化林業のモデルケースとして、更なる発展が期待されている。	受託 281
	（株）森林所有者支援企画	石川県	金沢市	社長が家業に転身後、森林境界の明確化を専門に行う別会社を設立。２社が協力して持続可能な森林経営を目指す。	所有300 受託1,624
	福井　聡	鳥取県	倉吉市	福井氏は若くして椎茸栽培の技術を身に付け、現在は市場価値の高い原木生椎茸の周年出荷体制を整えている。	22.72
	越井木材工業株式会社	大阪府	大阪市	木材工業の先駆者である同社は、原木丸太を安定的に確保するために国内及び海外で幅広く森林経営を行っている。	国内791所有 海外747所有
	倉増　知	山口県	美祢市	経営放棄の山林を積極的に購入。主伐後は必ず植栽し森林資源の循環利用を図りつつ、経営の規模拡大を図っている。	所有70.9 受託124.3
	池知林業	高知県	南国市	四代続く林家。初代義一氏は県森連会長を務め、四代目の宏一氏は持続可能な自伐林業の模範として地域林業に貢献。	463.9
	工藤　謙一	宮崎県	西臼杵郡高千穂町	工藤氏は間伐・択伐を45年間繰り返し、メアサ（杉）の106年生と、広葉樹による理想的な育成複層林分を造成した。	22.06
	岩元　孝幸	鹿児島県	姶良市	岩元氏は品質の優れた蒲生早掘りたけのこの生産を行っており、平成15年には「森の名手・名人100年」に選定された。	10.41
大日本山林会会長賞	千葉　毅彦	北海道	様似郡様似町	漁林業の複合経営を夫婦で実践。漁業に特に重要な役割を果たす広葉樹の森は、生育状況に応じた施業を行っている。	8.87
	三角　英樹	北海道	苫前郡初山別村	道の指導林家として技術の研鑽に励み、北海道森林室主催の研修等に所有林を提供するなど地域林業の発展に貢献。	97.11
	坂本　光正	岩手県	下閉伊郡山田町	自伐による森林施業は地域の模範。乾椎茸の生産では各種の品評会で入賞するなど、地域の活性化に寄与してきた。	30.59
	上林　幹夫	山形県	鶴岡市	長伐期大径材生産の経営が評価され県の林業士に認定。長年にわたり地域森林所有者等への技術指導に尽力した。	19.25
	大金　恒夫	栃木県	大田原市	林業遺産第一号に選定された指南書「太山の左知」にて植栽された樹齢150年超の林分を守り、ブランド化を目指す。	31.8
	（一社）GREEN TOPIA FOREST	千葉県	山武市	管理不十分な森林の整備と、担い手育成を通して地域森林の保全及びサンブスギの森林を後世に残す活動に尽力する。	所有15.57 受託21.55
	村田　重信	岐阜県	高山市	県の元林業グループ会長。大径木生産を目指す長伐期施業を実践。技術向上への研鑽を惜しまない姿は若手の模範。	34.9
	酒田　悦子	福井県	越前市	酒田彦兵衛農園の四代目。昭和60年から林業用苗木の生産販売を行っており、県の人工林造成に大きく貢献している。	4

令和８年度農林水産祭参加全国林業経営推奨行事（受賞者の概要）

■林野庁長官賞

○ 飯田（いいだ）　賢治（けんじ）　氏　（上川郡東神楽町）　S４４生（５６歳）

・飯田氏は、1958（昭和33）年に祖父が創業した飯田林業の３代目として、父の下で林業技術を学び、2010（平成22）年に経営を引き継いだ。
・立木の大径化に伴いグラップル及びハーベスタを2018年に導入。導入直後は地域の作業現場を見学し、効率的な伐採の進め方や土場の適切な配置など多くの技術を習得。コスト低減対策として低密度植栽を導入。
・皆伐・再造林をより推進するため「飯田林業としての持続可能な伐採スケジュールの構築（独自の施業体系図の作成）」を重視している。
・所有面積は約265ha（うち人工林約234ha、カラマツ約６割、トドマツ約２割、その他約１割）。
・2024（令和6）年より長男が飯田林業に就業し、飯田氏の指導の下、林業を学んでいる。
・林業の担い手対策として、北海道立北の森づくり専門学院（旭川市）の生徒に対し技術指導を行い、人材育成の一翼を担っている。
・家族で「木育マイスター」の資格を取得し、木育イベントの開催や支援活動を行っている。
・平成29年度に北海道指導林家に認定。